大井町の公共交通について意見を募集します

大井町地域公共交通会議事務局（企画財政課）　☎85-5003　FAX 82-9965　メール kikaku@town.oi.kanagawa.jp

「大井町地域公共交通会議」では、地域にとって望ましい公共交通のすがたを明らかにするため、「大井町地域公共交通計画」の策定を進めています。
これまで、町の公共交通の現状分析に加えて、町民や交通事業者などへのアンケート・ヒアリングを実施し、地域公共交通を取り巻く課題とその対応策について取りまとめました。
ここで取りまとめた対応策は案であるため、今後、これらの課題を解決し、町民の皆さんが暮らしやすく、活力ある地域づくりを進めるに当たって、**どのような地域公共交通が望ましいのか、地域公共交通を通してどのようなまちづくりを進めたら良いのか、**次の課題・対応策案を参考に、皆さんのご意見・ご提案を募集します。

◆ ご意見をお寄せください ◆

町民の皆さんと一緒に公共交通について考えるため、2月に町民ワークショップの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、書面で意見を募集することとしました。
意見は、住所・氏名を記入の上、郵送・FAX・メールのいずれかで企画財政課へご提出ください。(書式自由)
【募集期間】２月26日（金）まで（必着）
※お寄せいただいた意見は、個人情報を除き、町ホームページで公開する予定です。
※いただいた意見に対して個別の回答は行いません。

課　題　の　整　理

課題	対応策（案）
課題① 高齢者・障がい者及び児童・生徒など交通弱者への対応	**【町内の移動支援の改善】** ・既存の路線バスを維持するため、バス事業者と現行の巡回福祉バスなどとの調整を図る。 ・利用ニーズに合った巡回福祉バスのサービス（運行経路、ダイヤ、運行日など）を見直す。 ・地域の助け合いによる互助輸送サービスの仕組みづくりへの支援体制を構築する。
課題② 家族等による送迎の負担の軽減	
課題③ 公共交通同士の接続と広域アクセスの改善	**【町外へのアクセスへの改善】** ・待合環境の整備、公共交通同士の接続の改善を行う。 ・周辺自治体と連携・協力を図る。
課題④ 過度な車利用の抑制と地域の輸送資源の維持	**【安心して公共交通を利用できる環境の整備】** ・公共交通マップの作成などを行い、誰もが分かりやすい公共交通とすることで利用促進を図る。 ・社会福祉協議会で実施中の移送サービスなどの積極的な活用を図る。 ・目的地となる施設（店舗、病院、観光施設など）と連携し、地域資源の総動員による持続性を確保する。

【参考】ニーズ調査結果（抜粋）

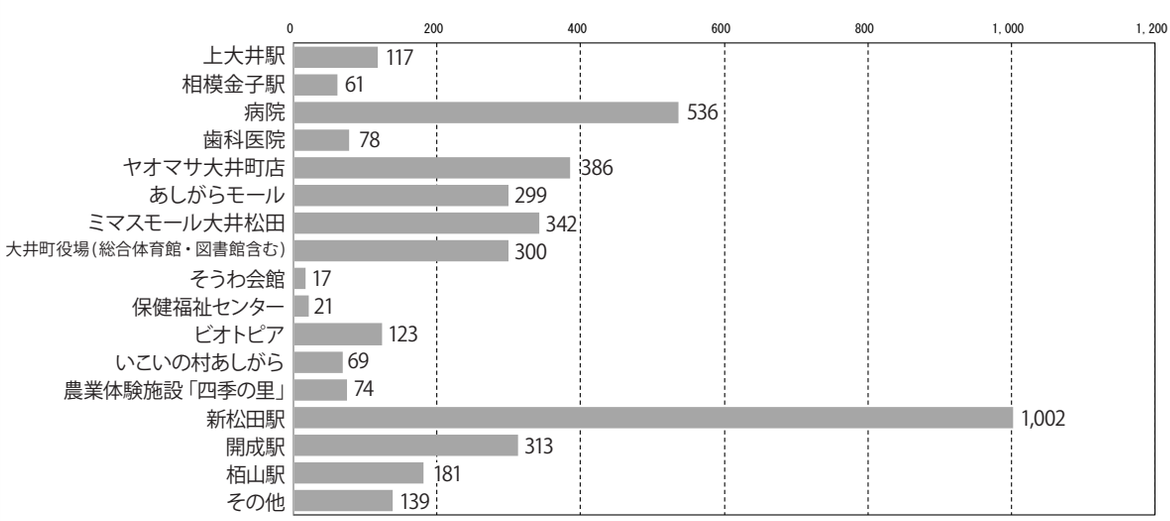
課題①　高齢者・障がい者及び児童・生徒など交通弱者への対応	
町民アンケート調査	○運転免許を持っていない15～19歳や20～29歳、70歳以上で外出時の困り具合の割合が高い ○高齢になるほど、町内での移動割合が高い
地区別ヒアリング	○今は自転車を使って買い物をしているが、これから先は不安 ○高齢者になると、バス停まで行くのが大変

課題②　家族等による送迎の負担の解消	
町民アンケート調査	○外出時の交通手段は15～19歳や70歳以上で「家族等による送迎」の割合が高い ○運転免許を持っていない方で、「家族等による送迎」の割合が高い
地区別ヒアリング	○地域の移動手段は地域全体で考えることが大事 ○互助による送迎など地域で支える組織づくりを検討して欲しい

課題③　公共交通同士の接続と広域アクセスの改善	
町民アンケート調査	○町外への移動の割合が高い外出目的は、通勤、通学、通院および遊び・趣味・習い事等である ○路線バス利用者で、他の交通機関との乗り継ぎに対し不満度は35.5%と高い ○公共交通機関が運行した場合の行き先は、新松田駅、開成駅と町外への鉄道ニーズが高い（図参照）
公共交通利用者アンケート調査	○路線バス利用者の最終目的地は町外（小田原市、松田町など）が9割と多い

課題④　過度な車利用の抑制と地域の輸送資源の維持	
地域特性や公共交通の現状	○代表交通手段分担率は、鉄道・バスは10.7%と低く、自動車は65%と高い ○鉄道、路線バス、巡回福祉バス、タクシー、移送サービスなどが運行中
地区別ヒアリング	○将来の移動に対する不安を抱えながら、現在は車や自転車で移動している ○今運転に対し不安だけど、仕方なく車で移動している
交通事業者アンケート調査	○路線バス、タクシー事業者はコロナ禍による業績悪化や乗務員不足

（図）■公共交通機関が運行した場合に行きたい場所（町民アンケート調査）



※ニーズ調査結果の詳細は、町ホームページをご覧いただくか、企画財政課までお問い合わせください。